



平成21年10月2日

各 位

会社名 株式会社 図研  
代表者名 代表取締役社長 金子真人  
(コード番号 6947 東証第1部)  
問合せ先 財務部長 西伸孝  
(TEL. 045-942-1511)

### 子会社の業績予想の修正に関するお知らせ

株式会社図研（代表取締役社長：金子真人、本社：神奈川県横浜市、資本金：10,117百万円）の子会社であります図研エルミック株式会社は、平成21年5月8日「平成21年3月期決算短信（非連結）」にて公表いたしました平成22年3月期（平成21年4月1日～平成22年3月31日）の業績予想につき、別紙のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

なお、本件による当社連結業績に与える影響につきましては、本日、同時に公表しております、「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

以 上



平成 21 年 10 月 2 日

各 位

会社名 函研エルミック株式会社

代表者 代表取締役社長 安藤 貴三男

(コード番号 4770 東証マザーズ)

問合せ先責任者 管理部長 浅川 直孝

( TEL. 0 4 5 - 6 2 4 - 8 1 1 1 )

## 業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 21 年 5 月 8 日に公表いたしました、平成 22 年 3 月期（平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日）の業績予想および配当予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

(金額の単位：百万円)

### 1. 平成 22 年 3 月期 第 2 四半期累計期間個別業績予想数値の修正（平成 21 年 4 月 1 日～平成 21 年 9 月 30 日）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A) (平成 21 年 5 月 8 日)	870	△88	△77	△79	△15.08
今回修正予想 (B)	565	△312	△302	△312	△52.56
増減額 (B-A)	△305	△224	△225	△233	—
増減率 (%)	△35.0	—	—	—	—
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 21 年 3 月期第 2 四半期)	790	△110	△100	△96	△18.33

### 2. 平成 22 年 3 月期 通期個別業績予想数値の修正（平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A) (平成 21 年 5 月 8 日)	2,380	76	98	93	17.76
今回修正予想 (B)	1,500	△310	△290	△300	△49.10
増減額 (B-A)	△880	△386	△388	△393	—
増減率 (%)	△36.9	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 21 年 3 月期)	1,639	△275	△259	△437	△83.63

### 3. 修正の理由

世界的な景気後退の影響から企業収益の悪化による客先の設備投資の抑制や開発の延期などにより、当社においても販売不振による売上高の減少が顕著となりました。

当第2四半期累計期間の売上高は、受注減等の影響により前回予想を大幅に下回り3億5百万円減の5億65百万円、営業利益につきましては、売上高減による売上総利益減、販管費及び一般管理費増等により、2億24百万円減の△3億12百万円、経常利益・四半期純利益も営業利益と同様の理由により、それぞれ、2億25百万円減の△3億2百万円、2億33百万円減の△3億12百万円に予想を修正します。

第3四半期以降につきましても引き続き厳しい経営環境が予想され、上記と同様の理由により、売上高は、8億80百万円減の15億円、営業利益は、3億86百万円減の△3億10百万円、経常利益は、3億88百万円減の△2億90百万円、当期純利益は、3億93百万円減の△3億円に予想を修正します。

#### (注 記)

上記の業績予想につきましては、現時点で得られた情報にもとづいて算定しておりますが、多分に不確定な要素を含んでおります。従いまして、実際の業績は、業況の変化などにより業績予想と異なる結果となりうることをご承知おき下さい。

### 4. 配当予想の修正

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回発表予想 (平成21年5月8日)	—	—	—	7.5	7.5
今回修正予想	—	—	—	0.0	0.0
当期実績	—	—	—	—	—
前期実績(平成21年3月期)	—	—	—	—	—

### 5. 配当予想修正の理由

当社は、事業における競争力の確保と同時に株主に対する利益還元を経営の最重要課題の一つとして認識しております。

しかしながら、期末配当金につきましては、上記のとおり厳しい業績見通しとなっておりますので誠に遺憾ながら期末配当予想を無配と修正いたします。

以 上